



道新青葉中央販売所だより

2020/ 2/5
水曜日

HPはこちらから



発行元：(株)道新販売センター 青葉中央販売所

〒004-0021 厚別区青葉町6丁目1-33 ☎0120-881-365 FAX891-3486

営業時間 平日：9時～20時 日祭日：9時～12時

厚別アラ歩き #29 ひばりが丘②

前回の記事(12/5号、第28回)で謎かけをしました。1916(大正5)年の地形図に載っている神社記号のうち、現在その場所に神社がないものはどれか？です。答えは図1の位置です。現在図でいうと、図2の赤い●を付けたあたりになります。現在の町名は厚別区厚別中央3条2丁目です。大正時代は白石村旭町でした。「旭町」という地名は、白石村が札幌市と合併した後も続きます。このあたりでは1982(昭和57)年に「厚別中央」に変えられました。現在、行政地名としては「旭町」は存在していません。また、今号のタイトルに付けた「ひばりが丘」も、行政地名ではなく通称地名です。付近には「ひばりが丘」を冠する建物がいくつかありますので、タイトルにはその地名を使います。

さて、この場所にあった神社は「旭町神社」といいます。「阿部神社」とも呼ばれたそうです。明治時代、この一帯で農場を拓いた阿部仁太郎にちなみます。神社は仁太郎が祀ったものです。旭町神社は1944(昭和19)年、信濃神社に合祀されました。図3は、神社があったあたりの現在の風景です。国道12号のバス停には「旭町」という名前が今も残っていますが、神社らしいものは見当たりません。ところが、この一角で私は小さな祠を見つけました。図4です。祠は、ある会社のビルの屋上に祀られています。その場所は大正5年地形図に記された神社記号の位置の近くです。祠と旭町神社は何かつながっているのではないかと私は想像を膨らませました。

(地域史研究者 杉浦正人)

参考資料：札幌市教育委員会『さっぽろ文庫39 札幌の寺社』1986年、p.271、『厚別開基百年史』1982年、pp.38-39、p.151、関秀志編『札幌の地名がわかる本』2018年 pp.76-77



図1 1916(大正5)年測図地形図から



図2 現在図(図1のあたり)



図3 「旭町神社」があったあたり



図4 厚別中央3条2丁目のビル屋上にある祠

道新 青葉中央販売所は献血活動を応援しています

命を救うボランティアみんなで献血へ行こう!

★みなさまの血液は、誰かのいのちに繋がります★

～A型・O型・AB型の不足に非常に困っています～

～新さっぽろ献血ルームのご案内～

◇厚別中央2-5 Duo(デュオ) 地下1階

◇受付時間 ①10:00～13:00 ②14:00～18:00

★休憩スペースにはクッキーなどお菓子をご用意しております。また、キッズスペースも充実！安心して献血いただけます。

※北海道赤十字センターHPより転載
詳しくは北海道赤十字センターHPにてご確認下さい。
<https://www.bs.jrc.or.jp/hkd/hokkaido/>

販売所からのお知らせ

毎年好評の『病院』本、新年度版いよいよ発売!

道新プラス DP **北海道の病院2020**

手術数・治療数ランキング

胃がん、肺がん、大腸がん、肝がん、膵臓がん、胆道がん、乳がん、子宮がん、子宮体がん、卵巣がん、腎がん、前立腺がん、膀胱がん、食道がん、白血病、甲状腺がん、放射線治療、脳卒中、脳腫瘍、心臓疾患、不整脈、目の病気、耳の病気、整形外科、形成外科、肛門科、小児外科

がん

- ・北海道がん治療の最新情報
- ・患者と家族への心のケア

◎特集

- どうなる地域医療
- 「呼吸のヨガ」マインドフルネス入門
- 安眠を妨げる「レストレスレッグス症候群」とは
- 患者体験談
古村比呂(女優)、梅沢俊(植物写真家)ほか
- がん患者がつづる「緩和ケアのいま」
- 歯の健康 オーラルフレイル

全病院+おもな診療所リスト

2020年2月20日発売 定価880円(本体800円+税)



申込みお問い合わせは
フリーダイヤル:0120-881-365